

図書室だより

平成30年5月
宮古商業高等学校
図書委員会

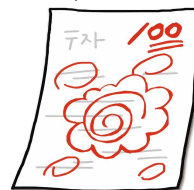
今年度初めての『図書室だより』になります。平成30年度も宜しくお願い致します。

さて、ゴールデンウィークも終わり、いよいよ高総体の時期になりました。皆さん、日頃の練習の成果を出して頑張ってきて下さい。ただ、ケガだけはしないように気をつけて下さいね。

そして、高総体が終わると前期中間考査もやって参ります。高総体と考査期間がかぶっていますので、計画的に勉強もやっていきましょう。

《前期中間考査期間》6/7(木)～6/12(火)

《芸術鑑賞会》



6月20日(水) 芸術鑑賞会

演劇 田上パル『Q学』

宮古市民文化会館

高校。表現選択科目「演劇」の授業時間帯。「演劇」の授業を選択した生徒たちは、一癖も二癖もある問題児。自称演劇人の非常勤講師によるやる気のない「演劇」の授業は、ただの不良の巣窟と化してしまうが、無気力と惰性の時間の連続は、彼女たちの絆を深めていく・・・話。

しっかりとした服装と鑑賞マナーで見ましょう！



《体育祭》

6/21(木)～6/22(金)

図書委員のオススメの本

題名 英雄の書 筆者 宮部 みゆき

出版社 毎日新聞社

この本は上巻・下巻に分かれている長編小説です。主人公が兄を探し、冒険に出てそこで様々な経験をし、真実を知っていくというストーリーです。とても面白い世界観なので、長い話を読むのが苦手という人も、すぐに本の世界へ引き込まれてしまいます。本が好きな方はもちろん、本を読むのが苦手という人にもぜひ手にとっていただきたいです。



題名 イルカと、海へ還る日 筆者 ジャック・マイヨール編・訳 関 邦博
出版社 講談社

かつて人は、水深40メートルを超えて素潜りすると、水圧によって死に至ると考えられていました。海とイルカを愛した男、ジャック・マイヨールはその常識を易々と乗り越え、イルカと限りなく近づいていきました。映画『グラン・ブルー』のモデルとなった酸素ボンベ無しで潜水100メートルの記録を打ち立てた伝説のフリーダイバーの自伝です。人間の潜在能力や可能性に驚かされる一冊です。



長山拓馬先生の『私の一冊』

題名 琥珀の夢 筆者 伊集院 静

サントリーの創業者の鳥居真信治郎の話。いつも前向きでやる気満々な信治郎にとっても好感をもて、ただ者ではない感を感じます。信治郎の気配り、心構えは私も大いに見習いたいです。弱音を吐かない、好奇心が強い、人に好かれる人間性、とにかく前向きなど。みなさんも信治郎のような人間性を高校のうちで身に付けてもらいたい。そしてその人間性をもって、社会に出てもらいたい。私はまだ上巻しか読んでないですが、ぜひ皆さんに読んでいただきたいです。



図書室に行こう！！

図書室開館時間

昼休み：12:45～13:20

放課後：清掃終了後～16:45

マナーを守って利用しましょう

携帯使用・私語・飲食 厳禁！！

借りられる冊数・・・5冊以内

貸し出し日数・・・1週間以内

本の借り方・・・CASAシステムで各自登録します。バーコードで読み込むだけなので、とても簡単です。詳しくは、図書室のパソコンの横にあるマニュアルをご覧ください。